

沼津工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	技術英語 I
科目基礎情報						
科目番号	0005		科目区分		専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 1	
開設学科	制御情報工学科		対象学年		4	
開設期	後期		週時間数		1	
教科書/教材	自作の講義ノートを配布					
担当教員	宮下 真信					
到達目標						
1. 論文全体の構成、パラグラフ、センテンスにおいて、正確に、明確に、簡潔に記述するための基本事項を習得する。 2. 論理的な文章を書くために必要な英文法や数式、数の表現などの基本事項を習得する。 3. 英文abstractが書けること、英文でのプレゼンテーション方法を習得する(D2-2)。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
論文の構成、パラグラフ、センテンスが正確、明確、簡潔に記述できる。	与えられた日本語文書資料の内容について小論文を課したときに、適切なタイトルをつける、自身の結論に向けて論理展開をすることができ、論理的飛躍がなく、さらに論理に基づいて適切な段落分けを設定できる（試験の点が32点以上に相当）。		与えられた日本語文書資料の内容について小論文を課したときに、適格なタイトルをつける、自身の結論に向けて論理展開をすることができ、論理的飛躍がない（試験の点が24～32点未満に相当）。		与えられた日本語文書資料の内容について小論文を課したときに、適格なタイトルをつける、自身の結論に向けて論理展開をすることができない。（試験の点が24点未満に相当）。	
英文abstractにおける論理構成の習得	英文abstractでの論理構成に基づいて典型的な英文での表現が、明確、簡潔にできる（試験の点が32点以上に相当）。		英文abstractでの論理構成に基づいて典型的な英文での表現ができる（試験の点が24～32点に相当）。		英文abstractでの論理構成に基づいて典型的な英文での表現ができない（試験の点が24点未満に相当）。	
プレゼンテーションの手順の習得。	プレゼンテーション用の英文abstractで文法的な誤りがなく正確、明確、簡潔な文書が作成できる（レポートで16点以上に相当）。		プレゼンテーション用の英文abstractで文法的な誤りが少なく正確な文書が作成できる（レポートで12～15点未満に相当）。		プレゼンテーション用の英文abstractで文法的な誤りが頻繁にある文書しか作成できない（レポートで12点未満に相当）。	
学科の到達目標項目との関係						
実践指針（D2） 実践指針のレベル（D2-2） 【本校学習・教育目標（本科のみ）】 4 【プログラム学習・教育目標】 D						
教育方法等						
概要	科学技術の世界では、英文による論文、仕様書、マニュアルを書くことや読むことは必須である。学術論文では、正確に(Correct)、明確に(Clear)、簡潔に(Concise)表現することが必要となる。ここでは、学術論文の構成や典型的な論理展開について講義すると共に、これらの3つの要素を満たすための英文での表現方法について講義する。					
授業の進め方・方法	本授業は、論文構成の基本事項についての講義と、具体的な英文の書き方について講義する。論文構成の基本では、数式表現、位置・時間・方向・距離などの基本的な表現について座学で講義する。また、具体的な英文の書き方では、名詞と冠詞、時制、助動詞、to不定詞と動名詞、短文を関係詞や接続詞で結方法などについて、英語でのニュアンスを中心とした講義を行う。					
注意点	レポート（英語と日本語） 1. 将来の携帯電話、車、ロボット、エネルギー、環境について議論したレポート、または 2. 日本の文化（温泉と銭湯、夏祭り、お茶、和菓子）を海外に紹介するレポート					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス		技術英文とは？学術論文の構成。Correct(正確), Clear(明確), Concise(簡潔)に書くとは？どのようなことを理解する。	
		2週	技術英語の基礎 1		アブストラクトを中心に、論文全体の構成方法、センテンスとパラグラフの構成について理解する。	
		3週	技術英語の基礎 2		文書のきまりの理解、ピリオド、コンマ、コロンの、セミコロンの使い方を理解する。	
		4週	文法 1		名詞の取り扱いと冠詞について理解する。	
		5週	文法 2		主語と動詞、5文型（技術英語で好まれる文型）について理解する。	
		6週	文法 3		時制（過去形、現在形、現在完了形の使い方）について理解する。	
		7週	文法 4		受動態と能動態（受動態で表現する場合）を適宜に使う方法について理解する。	
		8週	文法 5		著者の気持ちを伝える助動詞のニュアンス、前置詞のニュアンスを理解する。	
	4thQ	9週	文法 6		未来のことを述べるto不定詞と現状を述べる動名詞のニュアンスの違いを理解する。	
		10週	文法 7		現在分詞と過去分詞（格調高い表現としての分詞構文）のニュアンスを理解する。	
		11週	文法 8		比較の表現、数式や数の表現について理解する。	
		12週	文法 9		関係代名詞と関係副詞のニュアンスを理解する。	
		13週	文法 10		英文の書き方、短文を関係詞、接続詞でつなぐ方法について理解する。	
		14週	ショートプレゼンテーション		あらかじめ課したレポート内容について、パワーポイントを使ったプレゼンテーションを行い、プレゼンテーション方法について理解する。	

		15週	まとめ	科学技術英語の読み方を理解する。アブストラクトでの論理展開について理解する。			
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0